

令和6年度第2回小金井市青少年問題協議会専門委員会

日時 令和6年8月19日(月)午後2時～午後3時
場所 小金井市役所第二庁舎3階301会議室
出席委員 8人
委員長 浅野 正道 委員
委員 金井 誠 委員(副委員長)
橋本 洽祐 委員 兵頭 友幸 委員 浦野 知美 委員
山本 雄一 委員 平井 正博 委員 木村 安里 委員
欠席委員 2人
委員 黒須 よし江 委員 加辺 博之 委員

事務局 児童青少年課長 平岡 美佐
児童青少年係長 鈴木 拓也

傍聴者 0人

1 開会

平岡課長

それでは、若干定刻前ではございますが、皆様おそろいですので、始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中、またお暑い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

令和6年度第2回小金井市青少年問題協議会専門委員会を始めさせていただきます。

開会に先立ちまして事務局から何点か御案内させていただきます。

本日の委員会につきましては、加辺委員、黒須委員から事前に欠席の連絡を頂いております。また、浦野委員が本日3時半までの御参加となっております。

本日の配布資料についてですが、次第のほか、次第の下部に配布資料の一覧を記載しております。御確認の上、不足等ありましたら事務局にお申し出ください。

また、本委員会につきましては、会議録作成のため録音をさせていただいておりますので、発言の際にはお名前をおっしゃっていただいておりますので、発言の際はよろしくお願いたします。

まず議題に入る前に、前回欠席をされておりました委員の方がおられますので、初めての御出席となる委員の方に、簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。

初めに、平井委員願いたします。

平井委員

多摩府中保健所生活環境安全課長の平井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

平岡課長

よろしくお願いいたします。続きまして、木村委員、願いたします。

木村委員

皆様、こんにちは。東京保護観察所立川支部で保護観察官をしております木村と申します。今年の4月から小金井市の担当となっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平岡課長

よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

それでは、議題に入りたいと思いますので、ここからは委員長に進行をお願いいたします。

2 議題

浅野委員長

それでは、改めまして皆様、こんにちは。前回から委員長を務めます浅野です。よろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから令和6年度第2回小金井市青少年問題協議会専門委員会を開会いたします。

早速ですが、次第ののりとして議題に入ります。議題(1)は今期テーマに関するアンケート案についてです。

前回、皆様から様々な御意見を頂戴しまして、今期のアンケート内容等についてお諮りしたところですが、初めに、事務局から説明をお願いいたします。

鈴木係長

本日の専門委員会においては、2点審議をお願いしたいと考えております。

1点目は、本日資料として提出させていただきましたアンケートについて、専門委員会としての案を確定させること。2点目といたしましては、アンケートの実施

方法及び対象者について御検討いただきたいという点になります。

初めに、1点目のアンケート案について御説明をさせていただきます。

今期の調査テーマである「SNSの利用と親子の関わり」について、利用実態等を把握するためのアンケートの事務局案を、先日、皆様にお示しさせていただき、事前に御意見をいただいたところです。

配布資料1及び2を御覧いただければと思います。

こちらは、委員の方からいただいた意見を基に、アンケート修正箇所について表にまとめた資料となっております。資料1が子ども用、資料2が保護者用の案となっております。

表の左側が先日皆様に御確認いただいた当初の案、右側が御意見を踏まえた事務局の修正案となっております。修正箇所には下線を付しており、修正内容の説明を表の一番右側に記載させていただいております。

各設問の修正内容については、資料を御覧いただければと思いますが、委員の方からいただいた意見及びその意見をどのように反映したかを一覧にしたものを参考資料として別に配布しておりますので、合わせて御確認いただければと思います。

この修正案のうち、1点皆様で検討をお願いしたい設問がございます。

資料の3ページ目を御覧ください。No.7に「SNSでつぎのようなトラブルが起きたことがありますか」という設問がありますが、その6つ目に「長時間使用することで勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になつたりした」という設問がありますが、こちらの設問に対し金井委員より、トラブルとは言えず、ほかの設問と比較して異質に見えるとの御意見をいただいたところです。

こちらに対し、委員の皆様からも御意見をいただき、設問として残すか、または別の聞き方をするのか等の検討をお願いできればと思います。

また修正案について、この項目以外にも御意見などがございましたら、この場でお伺いできればと思いますので、よろしく願いいたします。

浅野委員長

御説明ありがとうございます。今お話ありましたとおりです。アンケートの修正案が示されておりますけれども、初めに、3ページの設問7について、金井委員から出されました御意見で、トラブルとは言えず、ほかの設問と比較をして異質に見えるので残すかどうか要検討ということですが、この項目については皆様から何か御意見あれば頂戴したいと考えますが、いかがでしょうか。お名前を言ってから発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

恐縮ですが、皆様が考えている間に金井委員から説明していただけますか。

金井委員

元の質問が「SNSでつぎのようなトラブルが起きたことがありますか」と聞いているので、その中で、長時間使用することで勉強に集中できなくなつたり、睡眠不足になつたりしたというのは、単純に話がつながらない。この設問を残すのならば別の設問として残せばいい話であって、トラブルとして聞くようなことではないのではないかと。言わば自己責任のところですので、そのような意味合いで、私としては意見を述べさせていただいたところです。

浅野委員長

ありがとうございます。それに対しまして、ほかの皆様、いかがでしょうか。

浦野委員

設問の聞き方がトラブルとなっておりますので、このトラブルという言葉を使わ

ないで、困ったこととか違う言い方をしたら長時間使用することというのもありなのかなと。大人としては、こういうことを聞きたいなということでもありますので、これはどこかで生かされたほうがいいのではないかと思います。

浅野委員長 ありがとうございます。トラブルという言い方ではなくて、何か困ったことがありますかというような、少し和らげた言い方で聞くと、この設問もその範疇に含まれるのではないかと御意見でしたけれども、ほかの方、いかがでしょうか。

子ども用のアンケートと保護者用のアンケートで同じような項目で出されているのですが、確かに今、浦野委員がおっしゃったように、保護者にとってみるとこのところは知りたいというか、実際どうなのかは気になるところではありますよね。金井委員のおっしゃるとおり、自己責任と言えども本当にそれまでですけれども、いかがでしょうか。この設問については。

橋本委員 今、トラブルのことがありましたけれども、7番の2番目の「友達とトラブルになった」ということが「関係が悪くなった」と修正されているのですが、設問そのものはトラブルを使っているんで、そういった意味で統一したほうがいいのではないかと思います。浦野委員の意見に私は賛成といいますか、その表現でいいのではないかと思います。

浅野委員長 要はトラブルという聞き方ではなくて困ったことというような、それ以外にもより適切な言葉があるのかもしれないですが、そういった少し柔らかい言い方で聞けば、友達と関係が悪くなった、あるいは睡眠不足になったといったことも生かせるのではないかと御意見でしたが、ほかの方、いかがですか。

金井委員、いかがですか。

金井委員 困ったことという表現で良いかと思います。これでしたら特におかしな印象はないですし、もう一つ、「性的な被害にあった」、これも私、意見を書かせていただいたのですが、こちらのところが「その他上記以外」と直っていますので、これでしたら私たちの想定した以外のものが拾えるのではないかと思いますので、その言い方のほうが良いかと思います。

浅野委員長 ありがとうございます。私も金井委員からの意見は読んでおまして、おっしゃるとおり、性的な被害に遭ったということで「はい」とか言えないですね。答えにくい質問だと思いますので、「その他上記以外」として自由記述というのはいかがでしょうか。

そうしますと、ほかに御意見がなければ、今、浦野委員、橋本委員がおっしゃったように、トラブルという言い方ではなくて困ったことという言い方に変えてこの設問を残すということによろしいでしょうか。

山本委員、どうぞ。

山本委員 浦野委員の内容は適切かなと思いますので、賛成でございます。長時間使用することで勉強に集中できなかつたりということなのですが、長時間使用することありきの設問だと思います。子どもたちに対して、長時間使用しているという断定的な限定的な、そんなイメージを持たれるので、使用した場合は勉強に集中できなかつたり、寝不足になつたりしますよね、という問いかけに近いのかなと。

浅野委員長 ありがとうございます。長時間使用することという初めにありきではなくて、

長時間使用したことによって、長時間使用した場合はといったようなことで困ったことはありますかという問いかけということですね。

山本委員

そうです。

浅野委員長

ありがとうございました。ほかの委員の方、いかがでしょうか。山本委員が今おっしゃったような言い方に変えていくということによろしいですか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございました。非常に適切な御意見をありがとうございます。

それでは、この項目以外の部分、全体を通して、資料1及び資料2に対しまして、子ども用、保護者用、何か別のところで御意見等があればお受けしたいと思いますのですが、いかがでしょうか。

事前意見として、参考資料の中に皆様から出された意見がありますけれども、事務局での検討結果としては御意見どおりに修正となっているものが多いのですが、それも含めて何か御意見等あれば頂戴したいと思います。いかがでしょうか。

逆に事務局のほうで、こちらを取りまとめるに当たって、もう少し説明を聞きたいとか、ここは今ひとつよく分からないといったようなところはございませんか。

鈴木係長

後でお話ししようと思っていたのですが、アンケートの中で、専門的な用語が出てくる場合があるかと想定されます。具体的には、保護者向けのアンケート、資料2の設問の番号でいきますと16番、ペアレンタルコントロールという単語が出てきます。これも金井委員から御意見をいただいたところでして、用語の意味合いといえますか、用語自体知らない可能性がある、知らない保護者さんがいらっしゃる可能性もあるのかなと事務局でも考えまして、そういったところはアンケート実施する際に用語説明を付記して実施しようかと思っております。

もう一点、本日急遽欠席となってしまった加辺委員と黒須委員のお二人からも、事前に修正案について御意見をいただいております。内容についての検討がまだ十分にできておりませんが御紹介をさせていただきますと、まず加辺委員から、アンケートの2ページ目、設問6、「会ったことがない人とSNSでつぎのようなやり取りをしたことがありますか」という設問の3番目、修正案で「お互いの顔や身体の写真・動画を送受信した」という文言に変更したんですけれども、加辺委員から、悪意のある人は自分の写真などは送らないから、自分のという部分だけではないかという意見を追加いただいております。聞き方として、送受信したという書き方を事務局でした関係で、こちらも加辺委員から、送受信であればお互いのというところがいいのではないかという御指摘を受けて、そのとおり修正をさせていただいたところですがけれども、向こうから送られてくることをこの設問の中に入れるべきかどうかという点を今、皆様でこの場で御検討いただけると助かります。

もう一点、黒須委員からは、SNSのテーマについてのアンケートというところは踏まえた上で、家族ですとか友達との関わりの中でのSNS以外の楽しいと感じることとか、それはどんなときかという設問もこのアンケートで加えるのはいかがでしょうかという御意見を先ほどいただいたところですので、その辺りも委員の皆様から御意見をいただければと思います。

浅野委員長 黒須委員のご意見についてはSNS以外だから、もし入れるとしたら一番最後ということですね。

鈴木係長 そうですね、最後のほうになるのかなということでは考えております。

浅野委員長 分かりました。ありがとうございます。

そうしましたら、今、事務局から大きく3点、提示されたところがありますので、一つずつ御意見をいただきたいと思っております。

まず1点目は、保護者用のアンケートですと4ページの16番ですね、「ペアレンタルコントロールを利用していますか」、私もよく分かりません。説明を入れるか検討と書いてありますけれども、これについては、金井委員からの意見はどういうことでしたか。

金井委員 私もこのペアレンタルコントロールはよく分からなかったもので、一般的な言葉なのかどうかということをお尋ねしました。実際ペアレンタルコントロールは何のことですか。

鈴木係長 ペアレンタルコントロールというのは、スマートフォンやパソコンに搭載されている機能で、未成年の方が端末を使用するに当たって、保護者が使用できる機能を制限できる仕組みのことをペアレンタルコントロールと呼んでいます。

浦野委員 それはフィルタリングとはまた違うものなのですか。

鈴木係長 そうですね、ペアレンタルコントロールはもうちょっと範囲が広がります。フィルタリングはインターネット上のサイトに関する制限になると思いますが、ペアレンタルコントロールですと、アプリの使用制限などももう少し機能が多くなると思っています。

浅野委員長 この設問どおりにするとすると説明が入らないと分からないですよ。あと、保護者によっては別の解釈をしている方がいるかもしれません。今おっしゃったようなことではなくて、自分で別の考えなり解釈なりをしている方もいるかもしれませんので、定義として入れるというのは、一つありだと考えます。

ただ、その場合に、浦野委員もおっしゃったように、何か別の制限をするというのはほかにも出てくると考えられませんか。このほかにも同じように機能制限するようなものがあれば、それを幾つか併記したほうがいいのか、あるいはそこまで広げる必要はないのかということも考えなければならぬと思っておりますが、それも含めていかがでしょうか。

あるいは具体的なことを書かなくても、例えばこの16番の次に、ほかの機能を何か使用していますかというのをに入れて、使用している場合には、そこに自由記述で書いてもらうという手もありますよね。

浦野委員 私は浅野委員長の今の表記の仕方がいいかなと思います。不適切なサイトやアプリに対して、何か利用を制限することをしてはいますか、その横にしているものを具体的に書いてもらうとか、選べるようにするとか、そのほうがペアレンタルコントロールは使っていないけれどもほかのものは使っているという人は、ここでちゃんと私たちが求めるように答えてくれるかどうか疑問に残りますので、浅野委員長がおっしゃるような聞き方のほうがいいのかなと思います。

- 浅野委員長 そのほかいかがでしょうか。
- 橋本委員 詳しく分からないのですが、16の設問のところに、スマートフォン等にとありますけれども、機種によって制限できる機能は違うのでしょうか。さっきのフィルタリングとかペアレンタルコントロールですか、そういう機能の使い方というか。
- 鈴木係長 細かい設定の方法は機種によって異なってくる可能性はあるのですが、大きな仕組みとしては基本的には統一のものと考えていただいて大丈夫です。スマートフォンでもタブレットでもパソコンでも仕組みとしては同じと考えていただいて大丈夫です。
- 浅野委員長 ですから「等」という言葉でそれらを含めて区切るといったことになりますかね。ほかの方、御意見いかがですか。
- そうしますと、この16番の設問を残して横にペアレンタルコントロールの説明を入れて、なおかつ例えば17番として、その他の制限等してありますか、している場合に具体的に書くといったやり方がいいのか、16番のこのペアレンタルコントロールを含めて、一括して制限してありますか、していませんかという聞き方で、している場合には横に書いてもらう、あるいは選択肢を幾つか置いて丸をつけてもらう、そういうやり方と両方考えられますけれども、いかがでしょうか。どちらがいいですか。
- 鈴木係長 後者のほうが分かりやすいかなと事務局では考えております。あと、今日御欠席の加辺委員がこの辺りの正しいスマホの使い方とかいうところについて、この前の会議の中でも発言があったのですが、小学生向けにSNSの利用の仕方などの授業もしていらっしゃるということなので、改めて加辺委員にアドバイスをいただきながら、適切な聞き方を改めて検討するというのはいかがでしょうか。
- 浅野委員長 前回の会でも、PTAの役員はされていますけれども、御職業はそういった関係とおっしゃってましたよね。ですので、事務局からありましたように、加辺委員とも相談した上で設問を改めて確定するというところでよろしいでしょうか。
- 皆さん、うなずいております。ありがとうございます。1つ目の提案につきましては、そのように事務局で進めていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。
- 金井委員 すみません、細かいことですが、設問の一番最後に「No.1でSNSを利用していないと回答した人はNo.15以降の設問を回答」と入っているのですが、これもっと前のほうに持ってこられないでしょうか。私、実際読んだときに、1のところSNSの種類について次から選択してくださいと答えて、枝問の2があって、ここまで利用しているSNSというところについては終わっていると解釈して、2番以降は何でスマートフォンを、SNSを利用している前提で書いているのだろうと疑問を感じています。ですので、最初のところに、はっきり分かるようにして、No.1で利用していないと回答した人は15以降に答えてくださいということを示しておいたほうがいい。分からないままで何かおかしいなと思いながら回答する人が出てくるのは容易に想像つきますので、そうしていただけるといいかと思います。
- 浅野委員長 ありがとうございます。では、そのように事務局でまた修正をしていただきたいと思います。

そのほか、よろしいですか。

それでは、2点目に移りますが、子ども用のアンケートでいいますと2ページです。「自分の顔や身体の写真・動画を送受信した」という当初案が、変更案で、「お互いの」になっていますが、先ほどの説明では、こういった場合に自分のものは送るけど送られてくることはあんまりないのではないかとということもありましたが、ただ、子どもたちのLINEでのやりとりの中では、勝手に送って、送られてくるということもありますよね。ですから、それも含めると、ここの表現をどのようにしたらいいかというところで、もう一度御検討いただきたいのですが、2ページの設問6の3つ目です。いかがでしょうか。

山本委員

設問のところ、**「会ったことがない人と」**という前置きをしてあるので、「お互いの」は要らないような気がします。最後に、送受信ということは送る、受け取るという意味合いも含まれているので要らないような気もします。

浅野委員長

ありがとうございます。すると、お互いではなく自分のということになりますか。

山本委員

もうそこは抜いてしまっていていいんだと思います。「顔や身体の写真・動画」と。

浅野委員長

なるほど。「お互いの」を抜いて、単に**「顔や身体の写真・動画を送受信した」**ということですね。送受信したであれば、送った、受け取ったということになりますので。

ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

浦野委員

基本的なことを確認させていただきたいのですが、会ったことがない人でなく、友達でも身体の写真、プライベートゾーンみたいなところを恋人関係で送ってということもあると思いますので、会ったことがない人という条件はどうかかなというのが引っかかるところです。

浅野委員長

そういう御意見でしたけれども、そのほかいかがでしょうか。

橋本委員

今の浦野委員のことについて、5番で言っていることと6番では違うので、6番は会ったことがない、5番ではよく知っている人のやり取りになると思います。

浅野委員長

顔や身体というところまで踏み込んではいないですけども、5番の設問の中で、友達とやり取りというところはありますよね。それから、写真等のやり取りもありますよね。

それから、6番については、友達ではなくて、全く会ったことがないアプリ等で知り合った人たちとのやり取りということと考えることができます。

そのほか、いかがでしょうか。よく報道等と言われるのは、自分の写真を送るからあなたも送ってと言って、自分の写真は偽の写真を送っておいて、相手に本当の写真を送らせるというのはよくありますね。そういったトラブルは。ですから、山本委員がおっしゃったように、顔や身体の写真・動画を送受信したという言い方だと非常に分かりやすい気がしますがいかがでしょうか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

では、その意見を生かしまして、「自分の」や「お互いの」と入れなくて、「顔や身体の写真・動画を送受信した」という設問に変えていただくということでもよろしくをお願いします。

それでは、最後、3点目ですけども、黒須委員から出されておりました、SN

S以外で家族や友達との関わりで楽しいことがありますか、それはどんなときですかといった設問です。つまり、SNSについてずっと聞いてきた一番最後のところで、これだけではなくそれ以外の楽しみはどんなことがあるかというのを聞くというのは、確かに最後に加える項目としてはありなのかなという気がしますが、いかがでしょうか。

浦野委員　いいと思います。というのは、私たち前提として、SNSに没頭している子どもに対してのアンケートとバイアスがかかってしまっているような気がするのです。SNSとかそういうものをやるけれども、ほかに楽しみをたくさん知っているよという子どもたくさんいると思うので、そういうフラットな目で見るとしても、黒須委員の御意見はいいなと思いました。

浅野委員長　ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

そうすると、事務局にお伺いしますが、子ども用にその設問を入れるとすると、保護者用の最後にそれに見合ったような発問は設定されることになりますか。

鈴木係長　そうですね、この設問であれば両方に聞いて、比較をしたほうがいいのかという気はします。

浅野委員長　ありがとうございます。

山本委員　質問ですけれども、今の問いは自由回答ということによろしいでしょうか。

鈴木係長　黒須委員から、今日の午前中にこの意見はいただいたところで、どういう聞き方がいいのかということところは、現時点で考えられていないのですが、SNS以外のことも聞いたほうがいいのかということでは意見がまとまれば、それを元に事務局において、この後、どういう設問がいいかというのは考えたいなと思っています。なので、むしろ自由記述のほうがいいのか、何か項目を設定したほうがいいのかという意見もあるようでしたら、ここで出していただくと助かります。

浅野委員長　ありがとうございます。聞かれる側としては、丸をつける選択肢が幾つかあると簡単は簡単ですよ。それ以外にも特に自分のこだわりがあるとか楽しみがあるという場合には自由記述で書くというやり方が回答しやすいなとは思いますが、例えば地域のスポーツチームに入って野球やサッカー、バスケットボールに入っていてそれが楽しいとかね。あるいは家族で屋外に出かけて行くのが楽しいとか、そういった選択肢、一般的に考えられることは幾つか入れておいて、プラス自由記述というのはやりやすいかもしれませんね。

鈴木係長　承知しました。

浅野委員長　そんなところでよろしいでしょうか。

そうしましたら、事務局から出されました3点については以上ですけれども、それ以外のところで、アンケート全体を通して御意見、御質問等があれば出していきたいところですが、いかがでしょうか。

浦野委員　SNSに詳しくないので初歩的なことを聞いて申し訳ないのですが、SNSの中にはソーシャルゲームというんですか、一般的にゲームと言われるものはこの設問の中に入っているのかどうか教えていただきたいのですけれども。

鈴木係長　選択肢の中に明確には入ってはいりません。なので、その他自由記述のところでは回答いただくのがいいのかと事務局では考えておりました。

浦野委員 ありがとうございます。分かりました。

浅野委員長 それ以外はいかがでしょうか。まだ御発言をいただいている方で何かありましたらいかがですか。

事務局にお尋ねですけれども、例えば今日この資料をお持ち帰りいただいて、もう一度各委員に読み込んでいただいて、その中で質問が出てきたら直接お問い合わせさせていただくということでもよろしいですか。それを受けて例えば委員長、副委員長が協議するとかほかの方に御意見を伺うということができると思うんですが、そんな流れでよろしいですか。

鈴木係長 承知しました。

浅野委員長 皆さんもそれでよろしいでしょうか。非常に細かいところまで見ていくと、事前の資料、あるいは今日だけでも十分読み切れないと思いますので、お持ち帰りいただいて、何かお気づきのことがあれば事務局にまずはお問い合わせさせていただきたいと思います。

鈴木係長 ありがとうございます。それでは、事務局にお返しいたします。

鈴木係長 それでは、次にアンケートの実施方法及び対象者について御検討をお願いしたいと思います。

前期の新型コロナに関するアンケートを実施した際は、小学校は小金井第一小学校と南小学校の6年生を対象に各校3クラス、中学校は緑中学校と南中学校の3年生を対象に各校2クラスを選出し、それぞれ子どもとその保護者に対しアンケートを実施いたしました。

回答方法といたしましては、子どもがWEB回答方式、保護者が紙のマークシート方式で実施したところになります。

今回、事務局といたしましては、実施方法は子ども、保護者両方ともWebの回答方式、対象の学年については、小学生は5年生または6年生、中学生は受験等を考慮し、2年生を対象にするのはいかがかと考えております。

この点について、委員の皆様から御意見をいただければと思いますのでよろしくお願いたします。

浅野委員長 ありがとうございます。

2点目の協議といたしましては、このアンケートの実施方法及び対象者について御説明ありましたけれども、それについてはいかがでしょうか。

前は中学校3年生だったのですが、金井委員、中学校としてやはり2年生のほうがよろしいですか。

金井委員 実施時期がいつぐらいになるかというのが一番大きいかと思うのですが、アンケートそのものの実施についてはいつ頃の予定でおられますか。

鈴木係長 前回の会議でお示したスケジュールどおりで行きますと、アンケートを実際に実施する時期につきましては、10月中旬以降を予定しております。そこから二、三週間程度を回答期間として設定したいと考えております。

金井委員 子どもにアンケートを取る場合は、学校の中で時間を割いて一斉にやるというのを想定されていますか。

鈴木係長 はい。

浅野委員長 前回はそうでしたね。

金井委員 そうなってくると、2年のほうが無難かなという気がします。

浅野委員長 そうすると、これは校長先生の御意見は聞いておりますので、2年生でよろしいですかね。

小学校は5年生でも6年生でもいいと思いますので、6年生ですと逆に中学校2年生は1年間しか離れていませんから、だったら5年生を先にやるということも考えられますので、小学校としてはどちらでもいいと思います。

それから、回答方式ですけれども、今は保護者に対してもWeb方式でやってもらうのが一般的ですよ。PTAなんかの投票を集約するにしても紙では今やらないですし、Web回答でやっていますので、そのほうが保護者も慣れていると思いますからいいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

金井委員 保護者にWebでの回答を求めるのはいいのですが、回収率が相当下がります。

浅野委員長 中学校はそうですか。

金井委員 はい。紙でやる場合の4分の1ぐらい。

浅野委員長 そんなに少ないですか。小学校は割と保護者はWebだとぱっとやってくれるので。4分の1だったらアンケートにならないですよ。紙で生徒を通して保護者に渡して回収するという。

金井委員 その形ですと、全体で七、八割は確保できると思いますが、Webだと3割、4割行けばいいかなという感じ。

特に、一般的な保護者にとってみれば喫緊ですごく焦っているような困り感のあるアンケートと言えるかどうかというところなんですね。そうすると、後でもいいやというところから始まり、そのうちに忘れられる。

学校評価のアンケートも本校、Webにしたのですが、した途端に回収率半分になりました。学校生活のアンケートですらそうなので、ちょっとどうかなという気がします。

浅野委員長 ありがとうございます。前回、保護者は紙でしたか。

鈴木係長 はい。マークシートを配布して、それを回収いたしました。

浅野委員長 子どもは学校でぱっとやったほうが早いですよね。Webのほうがいいですよ。小学生も今、高学年であればすぐできますので。そうすると、そういった現場の声を反映すると、前回同様、子どもはWeb回答方式、保護者は紙のマークシート方式にしたほうがよいのでしょうかね。

鈴木係長 前回は回答いただいた子どもとその保護者同数でやったんですけども、Web回答にするに当たって、保護者も対象者数を増やすという方法もあるのかなと事務局としては考えております。Webにすると回収率が下がってしまうというのは学校以外のアンケートでもそういった傾向が出ているところもありますので、保護者には多めにサンプルを設定して、ある程度の回答数をカバーするという方法もあるのかなと事務局としては考えております。その辺りも御検討いただければ助かります。

浅野委員長 どうでしょうか。最終的には事務局判断というものもありかなと思うのですけれども。集計しやすいというのも問題ではあるのでどうなのでしょうかね。

橋本委員 やはり回収率からすると紙にしたほうが安全だと思います。Webで広げてもあまり上がらないのではないかと心配がありますので、确实なところをとったほうがいいと思います。

浅野委員長 ほかの方、いかがでしょうか。

山本委員 今までの実績として、子ども何名、大人何名の実績が今までありますか。大体でいいです。

橋本委員 私の手元にある平成元年の別の資料ですと、小学校が4年から6年で2,738名、中学校が1年から3年で2,031名、回答数が、小学校が2,588、中学生が1,902、小学生の回答率が94.52%、中学生が93.65%。多分これは紙だと思います。

鈴木係長 前回のコロナに関するアンケートの際は、大体、児童・生徒650人ぐらいを対象にアンケートを実施しまして、回収数が206件でした。保護者のほうも同数配付しまして、保護者は紙で実施しましたので、回答数が260件ございました。児童・生徒をWebで実施した結果の回収率は57.1%、保護者が紙配付で72.0%でした。

山本委員 保護者のほうがWebですか。

鈴木係長 保護者は紙です。

浅野委員長 子どもが57というのは、やっていないということですか。ほぼ出席者全員回答しますよ。

鈴木係長 もしかしたら、どこか、実施が漏れてしまった学校がある可能性もあったのかなという。

浅野委員長 学校はこの時間にやるといったら、出席している子はみんなやりますけどね。だからほぼ100%だと思いますが。ただ、保護者が七十何パーセント紙で回答があったということであれば、先ほどからの御意見もあって、お手数をかけるかもしれませんが、紙でやっていただくというのがよろしいかと思しますので、それをお願いをいたします。

そうしますと、実施方法は、子どもがWeb回答、保護者については紙という前回と同様のやり方で、対象については、小学校5年生、中学校2年生ということで進めてまいりたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

では、御異議ないようですので、そのように進めていくことといたします。

それでは、事務局から今後の進め方についての説明を再度お願いいたします。

鈴木係長 皆様、ありがとうございました。今後の流れといたしましては、本日いただいた意見を元にアンケート案の修正を行いまして、先ほど浅野委員長からお話がありましたが、追加で何か御意見がある場合には、期限が短くて申し訳ありませんが、来週の26日月曜日までにメール等でお知らせしていただくと助かります。そこまでに頂いた意見を基にアンケート案の修正を行いまして、委員長と副委員長の確認を経て、9月に開催予定の本体会議においてアンケートの実施について承認をいただく予定としております。

本体会議での承認後、校長会での説明を経てアンケートを実施する流れで進めて

まいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

浅野委員長

そうしますと、9月25日本体会議を経ますと、校長会が10月3日になります。そこで御説明いただけるということですね。そうしますと、それ以降、アンケートを実施していただくことになります。

そういった流れで進めていくということで、皆様、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。御異議ないようですのでそのように進めていくことといたします。

それでは、議題1について、アンケートについて以上といたします。

そのほか、事務局から何か御連絡はございますでしょうか。

鈴木係長

次回の日程について御説明いたします。

ただ今、浅野委員長よりお話がありましたが、今回は本体会議を開催させていただく予定です。日程が9月25日水曜日の午後2時30分からを予定しております。本専門委員会終了後に皆様に開催通知をお配りしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

事務局からは以上になります。

浅野委員長

ありがとうございます。

ほかに皆様から御意見、御発言等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

そうしましたら、以上をもちまして、令和6年度第2回小金井市青少年問題協議会専門委員会は閉会といたします。本日はありがとうございました。